

松島町教育委員議事録（4月定例会）

- 1 招 集 月 日 平成30年4月20日（金曜日）
- 2 招 集 場 所 松島町役場庁舎 302会議室
- 3 出 席 者 内海俊行教育長、瀬野尾千恵委員（教育長職務代理者）、
赤間里香委員、鈴木康夫委員
欠 席 者 佐藤実委員
- 4 説 明 の た め 出 席 し た 者
三浦敏教育次長、赤間隆之教育課長、大宮司綾学校教育班長、石川祐吾生涯学習班長、
佐藤淳中央公民館長兼文化観光交流館長兼勤労青少年ホーム所長、赤間香澄学校給食センター所長、
小岩輝学校教育班主事、佐藤弘也学校教育班主査
- 5 議 事 日 程
 1. 開会 平成30年4月20日（金曜日）午前9時28分 開会（録音開始）
 2. 前回委員会の議事録の承認
 3. 議事録の署名委員の指名 内海教育長・瀬野尾教育長職務代理者
 4. 報告事項
 - (1) 一般事務報告
 - (2) 教育長報告
 - (3) 平成29年度 社会教育施設の利用状況について
 5. 議事
 - 議案第1号 松島町学校評議員の委嘱（案）について
 - 議案第2号 松島町文化財保護委員の委嘱（案）について
 - 議案第3号 松島町給食センター運営審議会委員の委嘱（案）について
 6. 協議
 - (1) 平成30年5月定例会について
日程案：平成30年5月30日（水）午前10時00分 松島町役場3階 301会議室
 7. その他
 - 松島第一幼稚園視察について
日程案：平成30年5月30日（水）午前8時50分 松島町教育委員会集合
 8. 閉会

6 議 事 録

1. 開会 午前9時28分

〔小岩主事〕それでは若干早いのですが、そろいましたので、平成30年4月定例会を始めます。よろしくお願いいたします。

開会のあいさつを内海教育長よりお願いいたします。

〔内海教育長〕皆さん、おはようございます。

新メンバーになって初めての定例会ということで、教育委員会もフレッシュな形で4月スタートしました。何かこうワクワク感が漂っております。どうぞ今日もよろしくお願いいたします。

なお、子どもたちは982名、昨年の今ごろですと1000名でした。後で数字がありますので、18名ほど減になってスタートしました。入学式を無事終え、明日には小学校の授業参観、PTA総会。中学校においては1週間前にしていたということで、この後PTA総会が明ければよいよ連休、そして運動会に向けてダッシュが始まるというような状況です。

また、ひとつどうぞよろしくお願いいたします。

2. 前回委員会の議事録の承認

〔小岩主事〕ありがとうございます。

続きまして、2番前回委員会の議事録の承認です。

前回委員会の議事録の署名委員は、内海教育長と瀬野尾教育長職務代理者です。承認ということでよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）ありがとうございます。

3. 議事録の署名委員の指名

〔小岩主事〕続きまして、3番議事録署名委員の指名。

今回も内海教育長と瀬野尾教育長職務代理者にお願いします。よろしくお願いいたします。

4. 報告事項

(1) 一般事務報告

〔小岩主事〕4番報告事項、(1)一般事務報告、学校教育班からお願いいたします。

〔大宮司班長〕学校教育班大宮司です。それでは、説明させていただきます。

行事報告です。全部の行事は表にまとめたとおりでございますが、抜粋しましてご報告させていただきたいと思えます。

まず、3月30日金曜日、町立学校教職員離任式、役場庁舎で行われました。22名の離任がございまして、うち5名が町内の異動となりました。

4月2日月曜日でございます。町立学校教職員宣誓式、役場庁舎で行われました。23名の異動がございまして、うち5名が町内異動でございます。

3日火曜日、校長会が行われまして、中学校の校長、佐々木校長先生が会長に選出されております。

続きまして、9日です。松島高校の入学式が行われました。200名が入学されたとのことです。松島中学校からは普通科が11名、観光科に5名入学しております。

10日火曜日です。町内各幼稚園入園式が行われました。第一幼稚園が22名、第二幼稚園が16名、第五幼稚園が7名で、45名の入園となりました。同じく町内各小中学校も入学式が行われております。第一小学校51名、第二小学校が21名、第五小学校が13名、小学校の新入生が合計で85名となっております。中学校は91名入学いたしました。

11日水曜日、仙台管内教育委員会教育長会、第1回教育長会議が行われ、内海教育長が出席いたしました。

17日火曜日でございます。奨学金貸与運営委員会が行われました。新たに本年度1名に対して奨学金の貸与を決定いたしました。

18日水曜日でございます。教頭会が行われ、会長には第五小学校の樋浦教頭が選出されております。

続きまして、こちらからは行事の予定を説明いたします。

27日金曜日、宮城県市町村教育委員会協議会、第1回役員会が開催されます。瀬野尾教育長職務代理者が出席の予定です。

5月7日、こちら5月8日の欄にございます仙台管内教育委員会協議会、監査及び役員会の日程が変更になり、7日に開催することとなりました。表には5月8日となっておりますが、こちらが5月7日、役場201会議室に急遽変更となりましたので、この場をもって変更させていただきます。申しわけございません。

8日火曜日でございます。県町村教育長会定期総会研修会並びに臨時役員会が開催される予定で、内海教育長が出席の予定です。

10日木曜日、こちらは全国の町村教育長会定期総会並びに研究大会が東京で開催され、こちら事務局長が出席の予定です。

17日木曜日、こちらは第49回東北町村教育長連絡協議会定期総会並びに研究大会が青森県青森市で開催される予定で、こちら内海教育長が出席いたします。

19日土曜日は、小学校運動会が各小学校で行われる予定となっております。

最後に、25日金曜日でございます。仙台管内教育委員会協議会の総会が開催される予定となっており、瀬野尾教育長職務代理者が出席の予定です。

以上、学校教育班からの報告を終わらせていただきます。

〔小岩主事〕 それでは、学校教育班の行事報告・予定につきまして、何かございますでしょうか。

(質疑)

瀬野尾委員

質問です。

25日の仙台管内教育委員会総会は、私だけではなく教育委員みんなが対象ですよね。

大宮司班長

はい。

鈴木委員

じゃ、私一つ。

9日に松島高校の入学式があったと思います。こちらからは何人か出席されたかと思うんですが、先ほど200人の中で、ちょっと11人多いというお話、これってどこがどうなっているのかな。去年、一昨年から増えているんですか、松島中学校から高校へ。

これって何人ぐらい、偏差値が高くなっているって話は聞いているんだけど、せっかく松島にあって、普通科があって、どういう動向になっているかって、これ極めて私重要な気がしてならないんですけども、そこを調べて、次当たりのときに教えてもらえるとありがたいと。何人ぐらい受けて、厳しくて落ちちゃっているのかどうか。あるいは、受験者が減っているのかどうか、増えているのか。普通科について教えていただきたいと思っているところです。

それから、先ほど、これも大事な話で、今度小学校が85名ですか、これ9ページ、後で説明があるけれども、こことちょっとずれているかなということで、どちらが正しいかちょっと教えてください。

大宮司班長

すみません、口頭でヒアリングしてこの数字を書いたのですが、児童生徒数のこちらが正しい数字になります。

鈴木委員

この資料のほうが正しいんですね。わかりました。

大宮司班長

はい。申しわけございません。

鈴木委員

そうすると、87人ですか。これはきちんとしていたほうがいいと思ったので。

大宮司班長

幼稚園は4歳児から新入する子がいて、新入生の数字だとずれるんです。3歳児から入る子と4歳児から入ってくる子がいて、その分の1名のずれがございます。

鈴木委員

一年生としては52、21、14というふうに理解しました。ありがとうございます。

〔小岩主事〕 他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、続きまして学校給食センターからお願いします。

〔赤間所長〕 3ページをごらんいただきたいと思います。

4月20日から5月30日までの行事予定でございます。

本日午後からになりますが、第1回目の給食担当者会議を給食センターで実施していきます。

5月24日ですが、学校給食センター運営審議会を同じく学校給食センターで行う予定でございます。

5月下旬から7月上旬までの間に、栄養士による食育指導ということで、例年年2回実施しているものを今年も実施する予定となっております。内容についてはただいま調整中で、学校との検討を行っているところですが、1回目につきましては朝食について、2回目については地場産物についてということで今進めているところでございます。

次に、献立表、今日1枚ものをお渡ししたんですけれども、こちらをごらんいただきたいと思います。

今回から新しい栄養士による献立メニューを作ったところでございます。

今月、4月13日に放射能検査を行いまして、タケノコの新物が出てまいりましたのでそちらを検査しましたが、非検出でしたので、5月23日に松島産のタケノコを使用したいと思っております。

次に、4ページをごらんください。

学校給食の実施数ということで、平成30年度のものに記載しております。食物アレルギー等による給食停止も記載しております。ただし、こちらまだ書類がそろっていない児童生徒が何人かおありまして、実際の生徒数と若干数字が違っております。例えば、不登校のお子さんなんかについても実際おりますけれども、まだ書類が整っていないので、こちらへの記載はちょっと省かせていただきました。

以上でございます。

〔小岩主事〕 それでは学校給食センターの報告につきましてご質問がある場合はお願いします。

(質疑)

瀬野尾委員 食物アレルギー等に関する欄ですけれども、詳細献立というようにありまして、どういうものが入っているかを詳細に出したものかと思うんですが、この数は必ずしも全部停止とか部分停止とかの数とは一致していないんですが、これは希望とかそういうことで出しているんですか。

赤間所長 こちらは、実際給食は提供している方々も含んでおります。保護者の方が万が一ということで、ご希望を出していただいた方すべてに配っているものでございます。

瀬野尾委員 それからもう一点、今不登校のお子さんへのお話がありましたけれども、基本的に全欠のお子さんは、例えば年度が替わったときに最初から給食停止とか、またはある期間様子を見て対応するとか、そういう松島としての基準みたいなものはありますか。

赤間所長 基準という形ではないんですけれども、基本的には申し出があった場合停止という形にはなっているんですが、継続されている方については、実際この平成30年度の初回の生徒数には含まれていない形になっています。これは学校側の配慮で止めているという形になっております。

瀬野尾委員 そうですか。基本的には申し出ですね。

このあたりが難しいところで、学校が配慮したつもりで止めても、保護者からいつ出ていくかわからないじゃないかというような苦情が来たりして、非常に微妙なところですので、基本的には保護者による申し出ということでいいと思うんですが、場合によっては全然食べていなくて、何か月分払うという、そういう実態もありますか。

赤間所長 ございます。その辺、ちょっと不手際がないように、あらかじめ給食担当の先生のほうから担任の先生等に、保護者に会う機会を設けていただいたときにお話しいただくように進めておりますので、そういったことができるだけないように対応したいと思っております。

瀬野尾委員 ありがとうございます。

鈴木委員 いいですか。

先ほど、朝食と地場産物、タケノコの話があって、あとここによると松島産ごはんを書いてありますが、接点というのはJ Aなんですか。J Fはないんですか。米とタケノコ以外の接点って、極めて私、打ち合わせ欠いているここ重要だと思うんですけども、どうだろう。

価格的な面とかいろいろな面があるんだろうけれども、戦略的に、今までの延長線上じゃなくで何か、やはり新しい年度になったから、今度はちょっと。

赤間所長 毎年1月に、仙台雑煮ということでハゼを漁協から格安で提供いただいております、ただ1本ものはちょっと出せないの、汁という形でエキスをふんだんに使っているんですけれども。

鈴木委員 そこのところを何かうまく、ハゼもいいんですけども。

私も釣りをするんですけども、シーズンのときはいっぱい雑魚みたいなのが釣れるんです。ああいうのなんかもつたいないと思って、売り物にならないやつとか。

やはりうまくJ AなりJ Fなり、野菜も欲しいし。

赤間所長 今年度は、生産者との交流会を毎年設けているんですけれども、漁協の方々との交流会もちょっと学校のほうでやりたいと思っております、その絡みで少し何か取り入れられるものがないかどうか、ちょっとお話し合いをしていきたいと考えています。

鈴木委員 トマトやっていると接点を持たないんですか。

赤間所長 サンフレッシュとはやっております、旬の季節にトマトを提供いただいているんですけども、今年は、まさしく今日なんですけどイチゴを、やっと松島産のイチゴを。今日の給食に入ります。

瀬野尾委員 イチゴ、うれしいですね。

鈴木委員 いいじゃないですか。よろしくをお願いします。

赤間委員 2点あるんですけども、よろしいでしょうか。

赤間所長 1点目が、先ほどアレルギーの話がありましたが、これって年々増加傾向なのかどうか。

赤間委員 そうですね。小学校、中学校においては落ち着いているというか同程度で来ているんですが、幼稚園のほうでも、まだちょっとわからないけれども潜在的にあるのでちょっと不安ですというように、一次調査のときにはそういうお子さんが何人かいらっしゃっていて、そういった小さいときの状況が、そのまま年齢を重ねていって体力がついてうまくなじんでいけばいいんですけども、ちょっと気になるころではあります。

赤間委員 もう一点が、栄養士による食育指導ということで年2回開催っていうお話だったんですが、これは見学させていただくことは可能ですか。

赤間所長 大丈夫です。3年生は授業の一環でやっているんですけども、そのほかは給食の時間を利用してのやつで、本当に短い時間でやるので、その時間内にタイミングが合えば、どうぞ見学されて構いません。

赤間委員 あと、今年なんですけれども、リクエストがあればそういったクラスもちょっと増やすとか、内容を変えるとか、そういったことをやっていくということも、栄養士のほうもやる気満々ですので、もしかしたらちょっと違うこともできるのかと考えています。

赤間委員 よく広報とかで拝見はしたりしてまして、給食を生産者と一緒に食べるとか、そういうのは出ていますよね。とてもいい機会というか、各学校とも校庭の一部に畑を持っているわけじゃないですか。野菜を育てるということでもいろいろな意見をもらえるでしょうし、そういったところをぜひこちらとしても見させていただきたいというのがありますので、もしスケジュールがわかりましたらご案内いただければと思います。

赤間委員 以上です。

〔小岩主事〕 よろしいでしょうか。

それでは、続きまして生涯学習班お願いいたします。

〔石川班長〕 では資料5ページを開いていただきたいと思います。

生涯学習班の行事を報告させていただきたいと思います。

主な行事のみ抜粋してご説明させていただきます。

3月27日火曜日、第8回松島町歴史文化基本構想策定委員会を開催いたしました。完成した構想の冊子をもとに、今後の文化財の保存と活用について各議員からご意見をいただいております。構想やその概要版は、町の公式ホームページ、また松島窓口、勤労青少年ホームでの貸し出しをしまして公開をしているところでございます。今後は構想の内容について紹介する鋼材やワークショップなどを企画していきたいと考えております。

続きまして、4月19日木曜日、昨日でございます。平成30年宮城県B&G海洋センター連絡協議会総会が蔵王町で開催されました。平成30年度の事業と予算の承認が行われております。

引き続き生涯学習班の行事の予定をご説明させていただきたいと思います。

申しわけございません、一部資料訂正をお願いしたいと思います。5月13日日曜日、亘理町B&G海洋センター艇庫オープン式、こちら諸事情により、ちょっと町長選の関係とお聞きしておりましたが、行事自体がなくなったというようなことですので、削除をお願いしたいと思います。

では、行事予定でございます。

4月24日火曜日、平成30年度国民体育大会東北ブロック大会実行委員会、また担当者説明会が開催されます。今年度は宮城県において東北ブロック大会、通称ミニ国体が開催されることとなり、松島町で当たる競技としましては、成人、少年、少女のサッカー。時期は8月16日から19日の日程で行われる予定となっております。

続きまして、5月28日月曜日、本年度から実施いたします放課後子ども教室の第五小の1回目を開講いたします。コーディネーターを瀬野尾先生にお願いし、スタッフには学び支援、スポーツ推進員の方々に趣旨をお話しして賛同いただいた方、13名のスタッフ登録をいただいております。今後地域の方々にも参画していただけるように考えていきたいと検討しているところでございます。また、内容については放課後の自由遊びをメインとして

おりますが、スポーツ推進員にもスタッフとして加わっていただいていることから、ニュースポーツ点検等も加えていくことを検討しております。

また、4月、5月については各種学体の総会などがある時期であり、記載のとおり総会行事等が予定されております。

生涯学習班行事報告、予定については以上のとおりでございます。

〔小岩主事〕 それでは、生涯学習班の報告予定につきましてご質問等ございますでしょうか。

(質疑)

瀬野尾委員

鈴木先生、何かおありでしょうか。

鈴木委員

いっぱい、総会シーズンだから大変ですね。

石川班長

これ、4月の予定で、いろいろな昨年もあった総会、今年も同じなんだけれども、今年、平成30年度で、生涯学習で一番、例年やっているのは今年も全部大事だからやらなくちゃいけないけれども、昨年と違って今年はこの松島町の生涯学習で事業提案型って何かあったっけ、今年度は、今年度の事業として一番大きなものとしましては、やはり放課後子ども教室が今年度実施という形で。

鈴木委員

定期的に。

石川班長

定期的にというか、各校で10回程度予定しております。中学校におきましては、スタートの年ですので、若干やりながら改善されていくという部分もあるかとは思いますが、今後に向けて充実させていきたいと考えております。

鈴木委員

ふくらませていける形でできるといいですね、これも。松島オリジナルなもので。すばらしいと思います。よろしくをお願いします。

〔小岩主事〕 ほかにございますでしょうか。

それでは、続きまして中央公民館・文化観光交流館・勤労青少年ホームをお願いします。

〔佐藤館長〕 それでは、中央公民館の行事報告でございます。

まず、4月14日土曜日でございますが、初めての分館長会議を開催しております。初めての会議でございましたので、職員紹介から入りまして、内容としましては、今年度第58回目を迎えますふれあいスポーツ大会についての話をしてまいりました。

話の内容でございますが、毎年行事を実行しまして、その後反省会をしておるんですが、必ずここが良かったとか悪かったとかっていう部分は出てまいりまして、今年度ももう6月2日、3日に差し迫っておりますので、それが本当に良かったのか悪かったのかを検証しながら、いい方向に向けてスムーズな進行ができるように細部を詰めてまいりました。

もうひとつ、雨天時なんですけど、今までスポーツ大会で、私の記憶の限り、雨天時で別の場所に移ってやったという記録はないんでございますが、そういうこともよく打ち合わせしておいた方がいいんじゃないかということが前から話でありまして、今晴天時にやる競技でなくてニュースポーツをやる予定でおったんですが、それをすると、雨が降ってごたごたになっているところから移動して、さらにあまりやっていないスポーツをやることさらにごたごたになる危険性がありますということで、全員の了解をいただきまして、今やっている昼間の種目の簡単なもの、例えば玉入れですと、みんなで玉入れは狭い場所のできないので、傘を広げまして、傘の中に玉を投げるとか、そういった簡易的なもので対応するというので了解をいただきまして、雨が降ってもスムーズな対応ができるようにということで話をしてまいりました。

細々としたことがございますので、これから次の行事予定にも入っておりますが、ふれあいスポーツの代表者会議等、それでもさらに打ち合わせをしまして今年度やっていく予定でございます。

それから、4月20日金曜日、本日でございますが、松島の歴史を学ぼう(中級編)を開講しております。今年度は、内容としましては全3回の講座でございまして、大人の遠足、松島とのかかわりを学ぶというタイトルになってございまして、今日は岩切城跡を見る予定で出発しまして、山城というんですか、山にある城の歩き方、見方を学ぶという内容で出発しております。2回目が6月29日、これは里浜貝塚、縄文体験ということで、シカのストラップづくりなどになっております。それから10月18日、3回目でございますが、白石城下町を現地のガイドとともに歩かしまして、伊達62万石のもうひとつのお城を見て回るということでございます。

行事の報告は以上でございます。

それから、行事予定でございます。

4月27日金曜日でございますが、歴史を学ぼう(初級編)。それから5月23日、歴史を学ぼう(上級編)が開講

いたします。

以上でございます。

〔小岩主事〕 それでは、ただいまの報告等につきましてご質問等ございますでしょうか。

(質疑)

瀬野尾委員

お願いします。

この何年間、松島の歴史を学ぼう講座が行われていますが、初級、中級、上級、今年の申し込み状況はいかがだったのか、ひとつお尋ねしたいです。

佐藤館長

初級でございますが、20名募集に対しまして12名の参加でございます。中級は20名募集で18名参加でございます。上級は20名募集で7名の参加でございます。

また、途中から参加という方もございますが、そういった方もどんどん来てもらうようにしたいと思っております。

瀬野尾委員

そうですか、ありがとうございます。

それから、もう一点よろしいですか。

いわゆる反省会をもとに次の計画を立てるといふ姿勢は非常に前向きでいいことだと感じておりますが、具体的に雨天時の対応のお話が出ましたけれども、昨年の反省をもとに今後考えていかなければならない課題って、ほかに何か挙がっているようでしたら教えていただきたいです。

佐藤館長

すみません、本当にお話しすると笑ってしまうようなことなんですけれども、ただ分館の方々にとっては非常に大事なことでございまして、例えば障害物競走のパン食い競走とかなんです、手で取って食べる人が必ず出てくるそうなんです。私たちが聞くと何だと思んですが、やはりやっている人たちにとってはかなり大事なことでございまして、これはどんなことを言ってもだめでしょうということになりまして、パン食いをやめまして、札をそこに用意しまして、走っていったらどの札でもいいから1枚ペロッとめくります。そうすると、一緒に並走しているものをおぶるとか、抱っこするとか、そういった皆さんができるような内容が書かれていて、それに対応するように例えばさせていただくとか。

それから昼間の駐車場の問題なんです、去年もだいぶ皆さん頑張ってくださいまして、各地区10台で配分したそうなんです。それで、メインの中央公民館近辺がいっぱいになるだろうということで、役場にも置いていいですということでお話したそうなんです。それで、遠くの、例えば桜渡戸とか幡谷とか竹谷の人たちは、やはり磯崎とか海岸の方たちと違いまして車でないと来られない方が多いということで、分館長たちから出た話なんです、例えば磯崎は、うちは3台でいいからほかに7台回すとか、そういう話が自分たちから出まして、そういうことも話し合わせていただきました。

瀬野尾委員

ありがとうございます。

それで、もう一点だけ。先ほどの生涯学習班のお話と合わせてですが、今回放課後子ども教室開催に当たっては、スポーツ推進員等のご協力もあったり、一つの事業を、今回は同じ課、班になったからできることもかもしれませんが、一緒に協力し合う横の流れがすごく見えて、いいスタートだと感じましたので、改めてそういうあたりは進歩しているんだと思いました。ありがとうございます。

以上です。

鈴木委員

先ほど、昨年の反省点を踏まえて、これはとても分館活動としていいと。スポーツ以外では昨年の反省を踏まえてっていうのはなかったんですか。冬山、スポーツ以外で。

佐藤館長

すみません、分館長会議は今から何回か行われるんですが、とりあえず今回はふれあいスポーツを集中的にやりました。

鈴木委員

そうですか。

今瀬野尾先生おっしゃられた、学外の子どもの生活、あるいは活動に対して、分館活動って極めて何かミッションを持っているような気がして本当はならないんです。だから、先ほど生涯学習のあれとの連携っていうお話も、そこら辺のところをちょっと、何かいい企画でもあるといいと思うので、ぜひ出してくれるとありがたいですが。

佐藤館長

会議の中でうまくそういうふうにもっていければ、検討してもらおうような形で。

鈴木委員 　　|　　よろしくお願ひします。
〔小岩主事〕他にございますでしょうか。

(2) 教育長報告

〔小岩主事〕それでは、続きまして(2)教育長報告に移ります。教育長お願ひいたします。

〔内海教育長〕まず、8ページをごらんください。

校長会で4月に指示したことを簡単にお話させていただきます。

指導力向上プログラムを尊重し、実践してくださいと、転入してきた方々にも周知徹底を図ってくださいと。

それから、2つ目は、道徳の教科化について円滑な実施。今年からスタートしましたので、うまい具合にきちんと道徳の授業を展開してくださいと。

それから、外国語活動についてはALT、ほかに英語加配、これは瀬野尾先生ですので、戦力増強になりましたので、十分に英語力のレベルを上げてくださいと。プレッシャーをかけているつもりではございませんが。

それから、大切なこととして、学習規律をスタートから作ってくださいと。ノートを開きなさいといったらノートを開くと。鉛筆を持ちなさいといったら持つような子どもたち。そして、笑い声がある規律を作ってくださいというお話をしました。

校長としては、前任者に敬意を表しながらもクリエイティブな取り組みを大胆に展開してくださいと。できれば、あいまいな指示じゃなくて、明確な指示、目標をもって先生方に対応してくださいというようなことを言っておきました。

それから、生徒指導については、不登校生徒児童が極めて増加しているし、松島にとっても極めて憂慮すべき人数になっているので、具体的な手を打つこと。それから、進学してきた、進級してきた子はちゃんと前の先生と連絡を取りながら対応することというお話をしました。

それから、学校運営協議会、コミュニティスクールについては、とりかかりをスタートしてくださいと。各学校のスタートがちょっと、素地というんですか、それがばらばらで、五小はもう6月当たりからプレコミュニティスクールみたいな形でスタートします。ほかの、二小もできるようなことを言っていました。一小、松中は1年かけてその人選とかやり方を研究していくという形で、来年度には完全4月スタートをお願いしますということにしておきました。ちょうど二小に豊里小中の田辺先生が来て、こちらが詳しい方ですので、また何回か研修会を持ちながら周知徹底を図っていきたいと思っています。

仙台大学の連携については、今年も行います。つい先日三浦次長と職員が行って、仙台大学と連携の話を進めてきました。予算の関係で大きな、ビッグなことはできませんけれども、地に足がついた形でずっと末永く連携していければと思います。

その他としての情報でございます。

松島第一小学校、道徳の公開、事務所からのお願ひがありましたので、松島第一小学校の校長先生にお聞きしたところ積極的にやりたいということで、11月19日公開の日に当たります。これは指導力向上プログラムの年2回公開しているうちの1回とします。

あと、8月21日町教研にはこの道徳の教科化に大きく携わった、今帝京大学の教授をしています赤堀博行先生という方が講演に来てくださるようにつながりました。ここについては、保護者も道徳の授業というのは興味があるし、道徳っていったい何なんだというようなところもあろうかと思ひますので、教員、保護者、そして余裕があれば近隣の小中学校にもPRしていきたいと思ひます。

9ページをごらんください。

児童数、先ほどちょっと数字を誤ったりしましたが、これが、一番下のやつが町内の児童生徒数です。幼稚園の総計が109名、小学校が560名、中学校が313名ということで、982名と。何度も言うことになってしまいますが、去年の今ごろが1000名だったのでちょっと減りましたという形になります。

10ページをごらんください。

これはいろいろなところで目に触れていると思ひます。11ページは、仙台市でこのような形で決めたので、部活は週休2日以上ということで小中学校に通知を出しましたというような新聞記事が載っております。

10ページ、逆のほうは、もし中学校の保護者に出すとすればこんな形で出してくださいという文案です。まだこれは世に出ていませんが、出してしまった市町村もあるみたいで、ちょっと動揺が走っているというのも聞きます。

何が問題なのかというと、まず教育長会議でこれについて揉んでいないということです。それから、③の休日3時間程度とするということなんです、実は手当が出るのは4時間なんです。そうすると、3時間でやったならば

ボランティアと。これじゃあ何か本当の部活動の指導のガイドラインではないんじゃないかというような、学校の校長先生、教育長、そういう中から結構出ております。それで、この3時間程度でも手当が出るように、県のほうでは6月の定例議会に通過させたいというようなお話でございましたので、その通過をもってこのような文章が出ていく可能性があります。10ページの下米印、大会やコンクールの数を減らさない中で、これって本当に可能なのかというご意見もございます。ハイシーズンがずっと続くと強い部活動はなかなか、本当にそれが可能なのかという話も出ております。

それから、もしこういう文章が出るなら2市3町、つまり多賀城市、利府町、塩釜市、七ヶ浜町と大体歩調を合わせる必要があるのかと、そういう話も議論したいということになっております。

また、一方的に、管理下にあるので一方的な部活動のガイドラインを例えば松中に示すというのは可能なんだけれども、松中自身が自主規制をかけられないのかというようなことも、仙台市のように上からズドンと落ちるのではなくて、仙台市の中学校の方々が自主規制をかけていくような、校長会で話し合うような解決の方法もどうなんだろうというようなこともいろいろありますので、とりあえず今、今日はこういうふうにしますというようなお示しではなく、そういうようないろいろなお意見があるということだけちょっと話題に挙げさせていただきました。

私からは以上でございます。

〔小岩主事〕ありがとうございます。

ただいまの教育長の分につきまして、質問等あればお願いいたします。

（質疑）

瀬野尾委員

それでは、お願いします。

先ほど鈴木委員から質問があった卒業生の進路の件ですけれども、これはこの2年ほどでしょうか、まったく教育委員も知らない状態で、入学式や卒業式に行きますと、議員や町長が話題になって、町長が「いや、俺も知らないんだよ」というお話を聞いて、私はちょっといたたまれない気持ちになっていました。

それで、特に去年の年度末近くから校長先生にこの話をしているにもかかわらず、入学式のときにもまったく触れていないと。このところ、失礼ですが、中学校は教育委員のこういう話を軽く聞き流せばいいとお思っているのか。やはりそのあたりはきちんと、なぜそれが出たのか、むしろそのように今回は感じました。事前にお話しているにもかかわらず、こういう話がきちんと報告されていない。まして、長たる町長も俺は聞いていないんだということではまずいと思いますので、よろしくご指導お願いしたいと思います。

それから、先ほど教育長のほうから英語教育について、今回は人がいないということで非常勤の形で入りましたが、やはり入りましていろいろなことを感じました。学校にとりましても、常勤体制じゃないと非常に時間割を組みにくい。例えば、教室、理科室使用とか、体育館使用とか、学校の中で割り当てが決まっている。非常勤は授業をした時間にしか報酬が出ない。だから、1時間目に授業をして4時間目に授業だと、まさか行って帰ったりっていう時間はもったいないです。結局2時間います。そうすると、そこの手当はない。それは、働く人がそれを承知で受けるかどうかですが、具体的には、移行期間ですので70時間分を50時間で指導するということとなります。それが、やはりALTの先生は、とても指導書は読み切れません。ですから、私は入ってよかったと思いました。要するに、指導書で狙うことを、50時間という時間帯に、教科書会社は一覧を作ってくれていますが、とてもこなす内容が1時間に詰め込んであります。そういうことで、私のほうでは指導案をもとにALTの先生に英語で授業の流れを打ち直してお渡ししているんですが、授業そのものより、そういう時間がものすごく多い。ALTの先生だけではとても、本当にやれないと思いました。

もうひとつは、今までは英語活動でしたのでそれなりの扱いだったのかもしれませんが、決して活動だからいいんだということとは思っていないんですが、教材、教具が揃っていないんです。教師用のABCカード、それは教師用がないんです、学校に。そして、英語の各指導が入っているにもかかわらず、英語は教材で購入していませんでした。ですから、これからノートを買ってくださいと言っても、出すところがないと。もう教育委員会には今年の教材費はこうだって報告していると。学校側の工夫で、運動会の経費に英語ノートをつけるということで、それまではプリントで対応するというような状況で、非常にお聞き苦しいかもしれませんが、まず教材、教具がそろっていないということ。そして、特に移行期間はALTの先生にはとてもお任せできない

状況だっていうことで、やはり、もしできれば学校にとっても本務者が必要だと思いましたが、見つからないときには私、微力ではありますが頑張って、やりがいはあって、私は面白くやっていますけれども、能力は不十分なんです、とてもやりがいのある仕事をさせていただいて内心喜んでおりますが、状況としてはそういう状況です。

それから3つ目ですが、先ほどコミュニティースクールのお話がありました。

確かに、二小の校長先生も実際に経験されています。そして、ほかの校長先生方もコミュニティースクールがどういうものかっていうのは一小の校長先生ももう御存じで、その形に期待を寄せていますけれども、それが全体像として、教育長のおっしゃるコミュニティースクールが、底辺がどういうものをそろえて、最終的にそれをまとめる学校運営協議会がどういう形で存在することになるのかという全体像が、まだ校長先生方に伝わっていないと思います。経験したことはいろいろですので、その内容には大きな差があります。五小は既にやっているとおっしゃいますが、二小の校長先生のイメージしているコミュニティースクールから見ますと、格段の差があります。五小で、いやコミュニティースクールのときこういうことができたんですっていう話をすると、そんなことはとても考えられない話ですと、それほど話に格差がありますので、やはりコミュニティースクールを実施するというにはそれなりの準備が必要だと思っております。

その一つとして、今回放課後子ども教室が開催されますが、ほとんどの校長先生方は、それはやはりコミュニティースクールの大きな組織の活動舞台の一つと考えてよろしいんでしょうかと、そうなってほしいと私は思っておりますけれども、そうしますと、先ほど鈴木委員がお話されたように、こういう活動の中で子どもたちをどう育てていこうかという話し合いが、分館長とか各校長先生とか、それから教育委員会の方とか、ときには議員とかそういう方々と、あまり堅い何とか会議ではなく、町の教育を語る会みたいな、そういう形でできていったらいいと。

僭越ながら、この間入学式のときに、二小でしたので、そういうような話ができるといいですねって議員に申しましたら、そういうときは声をかけてくれればいいよなんていう軽い話でしたけれども、教育長のお耳に入れずに勝手にこういう話を話題にして申しわけなかったんですが、本当に堅くなく、いろいろな方がそうかっていう形でお力を出していければ、このコミュニティースクールが、まさに松島版が作れるんじゃないかと本当に期待しておりますので、ぜひそのあたり、教育長のご指導をお願いしたいと思っております。

内海教育長

コミュニティースクールについては、学校運営協議会と、あと地域学校協働活動というような、似たようなのがあって、そのミックスで、資料とかも校長先生たちには差し上げているところなんだけれども、まだ十分理解しきれていないというところがありますので、今瀬野尾先生からお話があったように、あとちょっと校長たちと協議してみたいと思います。

あと、瀬野尾先生の地域コーディネーターのご活躍というのも、私の中には、頭に入っていますので、うまくそこら辺は検討してやっていきたいと思っております。

各学校にコミュニティースクール、委員の支援だけではなく、あるもうひとつの面としてしっかりした目標を立てて、そしてコミュニティースクールの運営委員の方々に承認してもらおうと、1年間の校長の考え方を承認してもらおうというような、別な面での意味も私の頭にはありますので、ただ単にサポートだけとは考えてはいないということです、そこら辺はご理解ください。以上です。

瀬野尾委員

よろしいですか。

今年は、その各学校の学校経営方針を承認する組織というのはできているんですか。

内海教育長

できていません。

瀬野尾委員

まだこれからですか。

内海教育長

ですから、今年1年研究してくださいというような余裕を取りましたので、冊子とかたくさんありますので、前回も登米の石越小学校の校長先生をお招きしてコミュニティースクール運営というのは何たるかというのを講話してもらったので、阿部校長先生、三浦校長先生はご退職になったんですけれども、田辺先生、神田校長先生についてはある程度わかるということでしたので、あとは勉強会等をやります、来年の4月にはやっていきたいと思っております。

瀬野尾委員

ありがとうございます。

もう一点、それに関してですが、これから学校運営協議会を作っていくときに、各学校で委員を探すんですかっていうご質問を受けています。各学校ごとにコミュニティースクールとしての

運営協議会を作るのか、松島町としてひとつ大きな運営協議会を作って、その中で中学校、小学校というようになるのか。学校ごとに自分たちでそのメンバーを探すのでしょうか。そうすると、学校長の学校経営方針にときにはアドバイスを与えるような方もやはり入っていただかないといけない。そういう方々を自分たちで探すことは少しハードルが高いようにも思う。そのあたりを松島としてどう考えるのか。

内海教育長 この前、石越の校長先生からお話したのは、学校で選んできていくということです。だから、いろいろなパターンがあるんです。学校評議員もじゃあ教委で選ぶのかというような……

瀬野尾委員 いえ、評議員とは違いますよね。

内海教育長 ですから、そこまでしなくて、各小中学校は評議員を選んでいるんですけども、コミュニティースクールも、そのような形もあり。

あとは、それじゃあ身内だけの会になるということで、例えば教育委員会から選んだ人が何人か入ってくるとか、あるいは別な団体から入れるとか。

瀬野尾委員 何かフリートーキングですみませんが、そうしますと、松島としての大きな子育て方針についていますか、筋が、学校運営協議会ごとになっていくっていう。

内海教育長 だから、私は学校ごとに学校運営協議会を作ろうと思っています。そのほかに、さっき言いました生涯学習、鈴木先生がやろうとしている地域学校協働活動。

瀬野尾委員 前の学校支援本部って言っていたところですよ。

内海教育長 先ほどちょうど鈴木先生とその話を。私もそっちにかかわるんです、教育長だから。ただ確認だけしたということで、運営協議会とそことあとリンクしますと。こっちは、どっちかっていうと地域学校協働云々っていうやつについては、ボランティアとかPTAとか読み聞かせとか。

資料がありますので、後でお見せします。

瀬野尾委員 わかりました。

この件はだいぶ時間をかけてというか、教育長の中では進むんでしようとお思いかもかもしれませんが、何かとても、それでいいのかってちょっと今疑問を感じています。

内海教育長 私自身はそれでいいと思っているんです。ただ、そういうことをやると、瀬野尾先生がおっしゃるようなことをやると、大変失礼だけれども会議だけが多くなる。物事が進まないっていうようなことで、石越の先生はおっしゃっていましたが。だから、会議とかが多くなってやれば一番いいんだと。

ただ、ちょっと資料がないので、ここでのお話だけではあれなので、もし終わったらちょっとこういうの、県から出した冊子がありますので、それを見ていただいて。

瀬野尾委員 もう一点だけ。

それでは、今運営協議会のその組織の上、いわゆる運営協議会部分の話をしましたが、各学校に、地域コミュニティースクールになったときに、結構学校を、地域へ開かれた学校ということで、家庭科の時間にミシンの扱いを支援してくれる、そういう形は皆さんイメージしていますが、ときには漢字、宿題を出したときに丸をつけて、先生とは紙のやりとりで、このお子さんはちょっと書き順がどうも違うようだとか、ちょっとしたメモをつけて、そうすると先生は毎日宿題を出したものに対して、それを見て子どもを指導してっていう、そういうことまでできていたと。二小の校長先生も実際そういう活動をいっぱいやっていました。私もやっていました。

ところが、ほかの校長先生はそこまで学校は開けないんじゃないかという不安もあります。理由は、子どもたちの学力が保護者に知れてしまうと。そこをどう考えるか。そういうボランティアを、そこまでを学校で集めるのではなく、町として登録してもらえらる組織を、そうすれば地域コーディネーターがやることになるかもしれませんが、登録していただいて、その方に頼めるようなことをやってもらえないと、なかなか学校でそこまで全部っていうのは大変なことだっていう声もありましたので、ぜひこれを進めるときに、形だけではなく……

内海教育長 そう言われると、形だけしようとは思ってはいないんですけども、学校運営協議会委員がいて、こういうのを例えば丸つけしたいんだって校長が提案したら、それで塾に行って十分に検討して、了解を得てじゃあ集めましょうというようなパターンになるということです。

だから、学校運営協議会で、例えばトイレ掃除は子どもがやはりやるべきだっていう学校もあれば、実際学校で保護者がトイレ掃除してくれるところもあるんです。そのことについて、今の

は例えばの話で、学校運営協議会に校長が、いや、あまりにもひどいのでトイレの掃除をしてもらいたいんですけど、これについてどう皆さんお考えですかって投げかけますよね。そしたら、いいとか悪いとかってなって、最終的にはいいことにしましょうと。じゃあ、コミュニティスクールの皆さんでそういう方を募ってもらえますかという話になって、じゃあ募りましょうと。なければ同じような地域学校協働活動の団体のほうにこういうのありませんかっていうような形で、じゃあそういうのありますという、そこの中には読み聞かせとか、例えばの話、そこら辺、そしてあと瀬野尾先生にお願いすると。地域コーディネーター、瀬野尾先生そういうの誰かいらっしやいませんか。そうすると、はい、わかりましたなんていう形で、こんなのどうですかって。

私が考えているというか、校長先生方をお願いしたのは、そのお手伝いだったりサポートだったり、昔人材バンクを見て一回使って終わりっていうんじゃないくて、できれば通年通して、極端な話、1学期1回、2学期1回、3学期1回だけじゃなくて、何回か隔週に来るとか、そういうような形でサポートしてもらえればいかと。

それで、今一番考えているのは、まだ案なんですけれども、青年団とか結構いますので、この前青年団とお会いしたときに放課後すべて受け持ってくれないかと言ったら、おもしろいですねって話にはなったんです。だけれども、それだって学校運営協議会のほうでスタートしたら、こういうやつでどうだろうと。多分オーケーとなったら動き始めるというようなスタンスなので。

この子ども放課後教室も、もし長く続くんであればそれはいいんですけども、もしなくなったらまた放課後のお子さんの受け皿がなくなってしまうと、そういうこともあり得るんです。それで鍵っ子になってしまうと。おうちに帰るようになるということで、そこら辺、放課後をボランティアしてくれる方がコミュニティスクールの中から出て来ればいいですけども、出てこなければまた地域コーディネーターとかの方々にお願い、そういう人がいないですかっていうような形になる。それは、そういう県の冊子にも書いてあります。後でお見せします。

瀬野尾委員

いえ、持ってますので。

わかりました。今のお話ですと、学校ごとに、場合によってはトイレ掃除をする学校があったり、しない学校があったりってということもあると。

内海教育長

学校の実態に応じてですね。

瀬野尾委員

以上で私の質問は終わります。

〔小岩主事〕他にございますでしょうか。

なければ、ここで1時間が経過したので休憩をとります。45分再開いたします。よろしく申し上げます。

(休憩：10時35分)

(再開：10時45分)

(3) 平成29年度 社会教育施設の利用状況について

〔小岩主事〕それでは、45分になりましたので再開いたします。

(3) 平成29年度 社会教育施設の利用状況について。

13ページから21ページまで、それぞれの担当から説明をお願いいたします。

まず14ページは、運動公園利用者数を石川班長よりお願いいたします。

〔石川班長〕それでは、14ページをごらんいただきたいと思います。

運動公園の項目から報告をさせていただきたいと思います。

申しわけございませんが、ちょっと時間の関係上、年間の利用人数だけ読み上げをさせていただきたいと思います。

運動公園、こちらは野球場、テニスコート、多目的運動広場、会議室、グラウンドゴルフの施設がございまして、こちらはマリソルで指定管理を行っているところでございます。

平成29年度のトータル利用人数としまして4万5,664人という形になっておりまして、前年度と比較しますと4,715人少ないという状況になっております。こちらの理由につきましては、昨年度ちょっと長雨の影響もあったという形で、中止になったものがあると聞いております。

続きまして、温水プールでございます。

こちら、プール、トレーニングジム、シルバートレーニングジム、スタジオ、会員という区分になってございます。

こちらもプールと会員のところで減といった形になっております。プールのほうで1,979名の減、会員のほうで2,106名の減という形になっております。トレーニングジム、シルバートレーニングルーム、スタジオについては若干の増という形になりまして、トータルで昨年度の利用者は3万8,674人、前年度と比較しますと3,413人の減という形になっております。

続きまして、15ページになります。

町民グラウンドでございます。

こちらもトータルで昨年度の利用者が1万5,302名。前年度と比較しますと4,271名少ないという形になっております。こちらもグラウンドで、外という形で、雨の影響があったという形で減っているということでございます。続きまして、16ページをごらんいただきたいと思います。

B&G海洋センターでございます。

こちら、体育館、会議室、多目的運広場、こちらはアトレ・るDomeになります。

こちらトータルで昨年度の利用は2万945人という形になっておりまして、752名の減という形になっております。こちらにつきましては、ソフトバレーの愛好会、1団体解散したことによる減という形で聞いております。

続きまして、次のページをお開き願いたいと思います。17ページでございます。

こちらは、学校開放によるものでございます。

昨年の状況で、体育館のほうで1万2,140名。校庭のほうで3,009名。体育館のほうでは373名の減。校庭のほうで2,005名の減という形になっております。体育館のほうは若干の微減という形で、校庭のほうで2,005人という形でちょっと大きい数字になっておりますが、こちらやはり天候の関係で減になっているという形になっております。

スポーツ施設関係につきましては以上のとおりでございます。

〔佐藤館長〕 それでは、18ページをお開きください。

野外活動センター、指定管理者はウイザス関係の報告でございます。

ちょっと丁寧に細かく作ってきてくれておるんですが、これもトータルでございますが、人数は1万1,623人でございます。前年度が1万2,329名でございます。706名の減でございます。理由といたしましては、御存じのとおり熊が出没したということで、実際にここの山に出たかどうかは不明なんです。やはり目撃情報があったということで、保育園とか小学校などの課外学習のキャンセルが続いたことと、それから7月から10月まで台風関係で、大分山とかに入れなかったときがあったそうなので、そのための減でございます。

その次、19ページでございます。

文化観光交流館でございます。ここは指定管理者BBIでございます。

トータルの件数が1,910件、人数が4万2,310人ございました。前年度の人数が4万6,229人ございましたので、3,919人の減でございます。これの理由といたしましては、平成27年度までは文化祭と産業まつりが一緒になって文化観光交流祭ということでかなり賑わったんでございますが、去年は産業まつりが石田沢に移動したこともございまして、人数が激減しております。その関係でございます。

次のページでございます。

図書室状況調べでございます。これは一番下の昨年度と今年度のところを見てもらいますと、今年度は利用者が1万1,481名、冊数が2万3,919冊でございます。冊数的には比べるとマイナス16で、ほとんど変わってございません。人数が382名の減となっておりますが、ここは本を借りた方だけではなくて図書室を利用した方の人数も入ってございまして、毎日来られる方で、体調不良などで来られなかった方が2名ほどいるそうなんです。それは図書司書のほうで見ておりますので、そのための人数の減でございます。本の移動はほとんど変わっておらないということでございます。

それから、21ページでございます。

地域交流センターの利用状況でございます。

ここなんです。平成29年の手樽のほうの利用者が1,636名、件数が495件。前年が2,718名の611件で、ここも1,082名とかなりの人数の差が出ておるんですが、5月分をちょっと見ていただくとわかるんですが、ここに松高生の歩け歩け大会のときのトイレの利用のやつが入っているんですが、実際はほとんど使っていないそうなんです。それで、利用予定人数が平成28年には入っておったんでしょう。それを精査しまして、実際使った数字を入れたということでございますので、その分の人数減。それから、あともうひとつ、平成28年度は文化財の遺物整理が2名から1名になったそうでございます。これが人数的に、2人が1年間分やったのと1人になった分の差異が出

てまいりますので、1,082名というのはその辺の数字多分あるのかと思われます。

それから、東部の地域交流センターでございますが、ここは1,875名、82件でございます。ここは微増、微減でございます。

以上でございます。

〔小岩主事〕以上で社会教育施設の利用状況についての報告を終わりますが、ご質問等ございますでしょうか。

(質疑)

- 瀬野尾委員　　お願いします。
文化観光交流館での文化観光交流祭、狭くても産業まつりと一緒のほうがすごく盛り上がるように思うんですが、これは今後変更はないんでしょうか。
- 佐藤館長　　昨日なんですが、指定管理者のBBIと産業振興課のほうでいつどのように産業まつりをするかということで打ち合わせをしてきたそうなんですが、今年度も文化祭の時期には入れないそうなんです。前の週に石田沢のほうで実施される予定だということで報告を受けたんだそうです。
- 瀬野尾委員　　やっぱり場が狭かったからそうだったんですか。
- 佐藤館長　　理由としましては、町内の方だけではないんですが、かなり石田沢のほうにお客様が見えられたそうなんです。
- 瀬野尾委員　　そっちが盛況だったんですか。確かに町外からいらっしゃる方は、駐車場も広いし、交通の便としてはあそこは来やすいんでしょう。
- 佐藤館長　　そうです。イベント中に見たら、多分普通の人にはちょっと寄っていかれるんじゃないかと思います。今年度ももう文化祭単独になる予定でございます。
- 瀬野尾委員　　わかりました。ありがとうございます。
- 鈴木委員　　ひとつ、私よくわからないんです。
指定管理、マリソルに今度移りました。使用料と違って変えたりしているんですか。全然、今までどおりですか。
- 石川班長　　条例は変えておりませんので、基本は。
- 鈴木委員　　基本的に使用料については同じということですね。了解です。
- 赤間委員　　一つ質問があるんですが、よろしいですか。
20ページの図書利用状況調べてあるんですが、その入館者のところで、町内の人、それから町外、県の図書館の図書の利用、そのほかに都市圏、これは何ですか。
- 佐藤館長　　これは、人の移動ではないんですが、本の移動で、図書館同士で貸し借りしている分があるんです。それで、それも結局図書館から借りられているんですが、お客様が要望されて借りられているものなのという。
- 瀬野尾委員　　例えば、国会図書館からこれを借り出したいとかそういうことですか。
- 佐藤館長　　県内の図書館同士だと思われます。そんなに件数はないと思うんですが、多分。
- 瀬野尾委員　　わかりました、ありがとうございます。
- 〔小岩主事〕ほかにございますでしょうか。

5. 議事

〔小岩主事〕それでは、報告を終わりにして、5番議事に移ります。

内海教育長進行のもとお願いいたします。

議案第1号 松島町学校評議員の委嘱（案）について

〔内海教育長〕それでは、議案第1号 松島町学校評議員の委嘱について、事務局お願いいたします。

〔三浦次長〕議案第1号 松島町学校評議員の委嘱（案）について

このことについて、別紙のとおり提出する。

平成30年4月20日

松島町教育委員会教育長名

詳細につきましては、学校教育班長よりご提案申し上げます。

〔大宮司班長〕議案第1号 松島町学校評議員の委嘱（案）についてでございます。

24ページをごらんください。

こちらは、各学校に依頼をし、推薦していただいた方々でございます。松島第一小学校は3名、松島第二小学校

が3名、松島第五小学校が4名、小学校分の学校評議員10名でございます。

松島中学校につきましては、学校運営のさらなる充実のために、従前3名だった学校評議員を1名増員して、本年度は4名の評議員を置きたい旨ご報告ありました。候補者の方と今調整を、もう少し時間をかけて丁寧に行った上で改めて教育委員会に推薦したいということでしたので、今回の議案につきましては推薦者が決まりました小学校の評議員の委嘱についてご審議を賜り、中学校分については次回の定例において提案させていただく予定でございます。

今回、10名の評議員の任期は平成30年5月1日から平成31年3月31日まででございます。

よろしくご審議のほどお願いいたします。

〔内海教育長〕ということでしたので、何かご質問はございませんでしょうか。

(質疑)

内海教育長

これ、変わった人はわかりますか。わからないですか。

大宮司班長

一小は変わっています。あと、二小は同じかと思えます。五小も同じです。一小がお一人入れ替えになっています。

内海教育長

熊谷さんと西村さんが変わっているんですか。違う、西村さんはそのままで熊谷さんだけ。前のPTA会長。

〔内海教育長〕特になければ、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

議案第2号 松島町文化財保護委員の委嘱(案)について

〔内海教育長〕次の、議案第2号 松島町文化財保護委員の委嘱(案)について。事務局お願いします。

〔三浦次長〕議案第2号 松島町文化財保護委員の委嘱(案)について

このことについて、別紙のとおり提出する。

平成30年4月20日提出

松島町教育委員会教育長名

生涯学習班長よりご説明申し上げます。

〔石川班長〕それでは文化財保護委員の選任について、私からご説明を申し上げます。

まず、先に資料27ページをごらんいただきたいと思えます。

6番目でございます澁谷悠子委員から退任の申し出がございました。それに伴いまして後任の委員を選任するものでございます。

なお、新たな委員としまして今回上程しております神成浩志様につきましては、現在宮城県松島高等学校の校長でございまして、松島町の文化財の活用を考えたときに、松島高校観光科との連携が必要と考えられていることが大きな理由になります。また、先月の定例会でご審議をいただきました松島町歴史文化基本構想の策定に当たり、松島高校の生徒にアンケートを依頼しましていろいろなご意見をいただいているという経緯もございます。また、本人に打診を行った際に、神成先生が考古学を先行していたというお話もいただきましたので、その方面でいろいろなご意見を頂戴できると考えております。

以上でございます。

〔内海教育長〕そういう神成校長先生、人となりでございました。

何かご質問ございませんか。

(質疑)

(「なし」の声あり)

〔内海教育長〕では、ご承認いただくということでよろしいでしょうか。ありがとうございます。

議案第3号 松島町給食センター運営審議会委員の委嘱(案)について

〔内海教育長〕議案第3号 松島町給食センター運営審議会委員の委嘱(案)について。事務局お願いします。

〔三浦次長〕議案第3号 松島町給食センター運営審議会委員の委嘱(案)について

このことについて、別紙のとおり提出する。

平成30年4月20日提出

松島町教育委員会教育長名

学校給食センター所長より説明申し上げます。

〔赤間所長〕29ページをごらんいただきたいと思えます。

松島町給食共同調理場の設置に関する条例第6条に基づきまして、委員の委嘱をしたいと思っております。

表の記載のとおりなんですけれども、任期につきましては平成30年5月1日から平成31年4月30日までとなっております。

ります。

以上でございます。

〔内海教育長〕ということでございます。何かご質問ございませんでしょうか。

(質疑) (「なし」の声あり)

〔内海教育長〕よろしいですか。ありがとうございます。ということで、お認めいただきました。

以上です。

では、事務局に進行を返します。

6. 協議

(1) 平成30年5月定例会について

日程案：平成30年5月30日（水）午前10時00分 松島町役場3階 301会議室

〔小岩主事〕続きまして、6番協議事項（1）平成30年5月定例会について、日程案として平成30年5月30日水曜日午前10時から、松島町役場3階301会議室で行いたいと思います。

5月の最終金曜日は仙台管内教育委員会評議会の総会が入っておりまして、水曜日と変則的な日程になりますが、こちらの日程でよろしいでしょうか。

(質疑)

瀬野尾委員 この日は抜いてもらいました。簡単な情報です、すみません。

〔小岩主事〕それでは、5月30日水曜日ということでお願いいたします。

7. その他

松島第一幼稚園視察について

日程案：平成30年5月30日（水）午前8時50分 松島町教育委員会集合

〔小岩主事〕7番、その他です。

松島第一幼稚園視察についてということで、5月30日の定例会の前に、8時50分に教育委員会に集合していただき、松島第一幼稚園を視察してから定例会を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(質疑)

瀬野尾委員 一つ要望ですが、昨年幼稚園等を視察しましたが、今年は特にこういうところに力を入れていますとか、見ていただきたいとか、そういうポイントを園のほうから何かいただければ嬉しいと思います。

内海教育長 はい、じゃあ次長。

三浦次長 それについては、幼稚園につきましては、訪問するたびに園長のほうから説明させたいと思っております。それに付随しまして……

内海教育長 先にペーパーが欲しいのかもしれない、瀬野尾先生は。ペーパーじゃないんですか。

瀬野尾委員 前もってじゃなくていいんですが、当日でも構いません。ちゃんとお話しいただければ。

三浦次長 それに併せて、兼ねてからご要望がありましたが、各小中学校の学校経営説明を年度初めに教育委員の皆様にお話をする場を設けられないかということで今検討しておりましたが、それと合わせて、手樽にあります心のケアハウス、もみの木教室の内覧をしていただきまして、併せて各小中学校の校長4名からご説明を申し上げる場、つまり場所を、手樽のもみの木教室に指定できないかということで、今後は、今のところ日程が、瀬野尾委員も小学校のほうがありますので、ちょっと調整させていただいて、今からできれば、今申し上げてよろしいでしょうか。

全部空いている日が限られておりますので、5月14日か16日、22日、あとは28日、29日。31日がちょっと今候補日なんですけど……。

内海教育長 それの午前中ですか、午後ですか。

三浦次長 午前中にできたらという感じです。

瀬野尾委員 ちなみに、先に申し上げてよければ、14日月曜日と16日水曜日は、ありがたいことにこの日は授業が入っていません。あとは、28日はだめですので、今のところちょっとそのあたり、午前中でしたら。

三浦次長 後でまた調整させていただきたいと思います。よろしくお願いたします。

内海教育長 あと、私のほうからなんだけれども、この視察は去年どおりということでしていこうと思っているところでございます。今瀬野尾先生から狙いとかを聞かせてほしいというようなことだったので、そのような対応をしたいんですが、今年ちょっともう一歩進んで、その場で会議をしようかという案も出たんですが、例えば幼稚園の場合会議室がとれなかったり、小学校はとれたりして、あっちに行ったりこっちに行ったりしないでその場でと思ったんですが、従来どおり一回戻ってくるという形にさせていただいて、どうしても不都合が生じた場合にはその場ということになりますけれども、事務局も準備して待ち構えておいて会を進めたいと言っておりますので、よろしくお願ひします。

以上です。

〔小岩主事〕 それでは、全体をとおしまして何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

8. 閉会 午前11時15分

〔小岩主事〕 それでは、8番閉会となります。

閉会のあいさつを瀬野尾教育長職務代理者からお願いします。

〔瀬野尾教育長職務代理者〕 平成30年度初めての教育委員会ですが、私は、松島の教育委員会は非常に密度が濃いと感じております。せつかくの教育にかかわって、私たちが忌憚なく発言できる場ですので、町民、子供たちのことを考えて、事務局には耳の痛いこともときには申し上げますが、ぜひ連携して松島を、よい教育を発信できる町にできればと思いますので、今後ともよろしくお願ひします。

今日はお疲れさまでした。

〔小岩主事〕 以上で平成30年4月定例会を終わります。お疲れさまでした。

この会議録の作成者は、次のとおりである。

教育課学校教育班 主査 佐藤 弘也

上記会議録が正確であることを認め、ここに署名する。

平成30年5月30日

委 員

委 員